

ビタミンC 60 バイオリサーチ 〔レピスタ〕

世界初の最先端エイジングケア成分

植物成長因子を化粧品原料化

化粧品原料の開発・販売を行うビタミンC 60バイオリサーチ(本社東京、林源太郎社長、電話03-3517-3251)は、植物成長因子「アザオキソヒボキサンチン(AHO)」を含有した化粧品原料「レピスタ」を提案する。

AHOは、静岡大学の河岸洋和教授が発見した新規の天然化合物であり、稲や野菜などの食用植物にも含まれている。しかし、その含有量は極めて少なく、3億〜4億円相当の白米からわずか1gしか抽出できないという。

同社は、静岡大学と約5年にわたって共同研究を行い、AHOの製造技術を確認。さらには原料の水溶性にも成功した。世界に先駆けたエイジングケア原料「レピスタ」として、22年10月より販売を開始している。

レピスタに見込まれる作用は、①細胞賦活強化②ターンオーバー促進③バリア機能の改善・強化④肌の透明感の向上⑤保湿およびヒアルロン酸産生促進——の5つ。

細胞賦活作用では、正常ヒト表皮角化細胞にレピスタを添加し、48時間培養後の細胞生存率を測定したところ、細胞生存率の向上——すなわち細胞賦活作用を示唆したという。

また、細胞賦活作用による遺伝子の変化を調べるために、DNAマイクロアレイという解析を行った結果、「角層の成熟化」「角層細胞

の物理的強度・保湿性・接着状態の向上」「角層および表皮のスムーズな分化」など、皮膚のバリア機能に関連する遺伝子の発現量増加・ターンオーバー促進が見込めたとしている。

臨床試験では、美容レーザーを用いて損傷させた皮膚にレピスタ配合美容液を塗布(朝晩2回・1週間)したところ、バリア機能改善・強化を確認。8週間の長期運用試験では、角層水分量が30%増加し、一方でTEWL(経表皮水分蒸散量)は15%減少。加えて、肌明度が向上したことから、美白効果にも期待できるという。

そのほか、パルミチン酸レチノール(※5)とレピスタの比較試験では、レピスタに1・6倍のヒアルロン酸産生促進効果があることが判明。併用時には、レチノールによって発生する細胞障害(肌に対する刺激)の緩和も見られた。

「レピスタは世界初のAHO含有原料だ。非常に注目を集めており、異例のスピードで採用が決まった実績もある。『第39回日本美容皮膚科学会総会・学術大会』では、優秀演題賞を受賞することができた。チャレンジ性と新規性が評価された結果だと考えている」(同社)

(※5)パルミチン酸レチノール……ヒアルロン酸産生促進を目的として化粧品に採用される成分

